

令和3年度 第1回家庭教育支援連絡会会議録

1 日時

令和3年7月13日（火）午後3時～4時20分

2 場所

市役所議会棟 5階 第2委員会室

3 出席委員

春日委員長、原副委員長、山田委員、笠間委員、鍵崎委員、福島委員、
島津委員、岩本委員、堀委員、楠本委員、東田委員

4 欠席委員

甲斐委員

5 事務局

赤堀課長、三河係長、井上、川上

6 会議次第

(1) 開会

- ① あいさつ
- ② 自己紹介
- ③ 委員長、副委員長選出（春日委員長・原副委員長に決定）

(2) 案件

- ① 家庭教育学級について
- ② 寝屋川市家庭教育サポートチームについて
- ③ ねやがわ子どもフォーラムについて
- ④ その他・情報交換

会議録

1 開会

青少年課三河係長より連絡会の概要説明の後、各委員の自己紹介を行うと共に委員長、副委員長の選出を行った。

2 案件

(1) 家庭教育学級について

①家庭教育講座

全 24 小学校で開催する。

講座の内容は、SNS など「家庭での情報モラル」が人気。現在、各校に開催依頼を送付し、回答待ちの状況。

(2) おとなのCAP

CAP とは、子どもへの暴力を防止するための教育プログラムであり、市立小学校 3 年生、6 年生を対象とする。(現在は監察課で実施) この教育プログラムを保護者に周知するため、大人を対象とした「おとなの CAP」を開催している。

今年度も市内 6 コミセンで各 1 回ずつ開催予定。

(3) 家庭教育支援者スキルアップ講習会

市内の家庭教育支援者、またこれから家庭教育支援者として活動する方を対象に、スキルアップを目的として実施。講習会受講者の中から、次年度の「家庭教育サポーター」の希望者を募り、活動していただく事を目的としている。時期は令和 3 年 12 月と考えているが、内容は検討中。

3 寝屋川市家庭教育サポートチームについて

家庭教育サポーターの活動実績について説明。

今年度も市内 24 小学校に各 1 名ずつ、家庭教育サポーターを配置。

保護者のよき相談相手になり、家庭の健全化を図り、子どもの生活改善につながるよう活動していく。

4 ねやがわ子どもフォーラムについて

- ・開催概要の説明（開催日：令和 4 年 2 月 12 日（土）を予定）

- ・家庭教育支援連絡会委員の所属団体にも周知を依頼していく。

5 その他・情報交換

【学校】

新型コロナウイルスの関係で、生徒等の PCR 検査結果判明までの間、2～3日、学級休業等の対応を行っている。いつ起こるかわからないため、学校現場でも緊張感を持って対応している。

新型コロナウイルス感染予防のため、マスクの着用を行っているが、高槻市で、体育の授業中に子どもが亡くなる事案があり、マスクをしていたかどうか争点になっている。体育等で、激しい運動をする際は、距離を開けてマスクを外す等の対応をしている。

蔓延防止措置で、音楽の授業やグループ活動、意見交流や小学1年生と6年生が交流する2学年交流もできていない。児童集会も校内放送で対応。参観もオンラインで配信し、タブレットを使い、クラスごとに交信するなどが日常化している。

早く感染者が収まり、友達と伸び伸びできる環境になってほしい。

【保育所】

職員は2週間に1度、PCR検査を受けている。

子ども達は、マスクを自分で管理できないので、マスクをしないという事で、保護者にお願いしている。

地域との交流やプールもできない。少しでも工夫しながら夏の遊びを体験させたいと思う。

保育所は、お盆休みも開所している。

合宿保育はコロナの影響で中止する代わりに「たそがれ保育」として日帰りの保育を行ったが、保護者から苦情などは無い。

保育を担当制にしているが、通常保育に加えて、要保護児童など支援が必要な子どもにも状況に応じ対応している。

【家庭教育サポーター】

学校では、ケース会議をこまめに開くので生徒や家庭の状況が把握で

きる。

支援担当の先生と情報共有し、児童のお迎えを一緒に行っている。

基本は1年生の補助をしているが、椅子に座れない子や、時間の区切りや集団活動が難しい子、遅れて登校した子に寄り添い、話を聞いている。

オンライン参観などが増え、保護者に会う機会がなく、どこまで対応したらいいのか、家庭訪問も何回までなら行ってもいいか、先生方と相談しながら活動している。

児童が学校を休む理由は、コロナ禍で保護者と離れられないのか、判断が難しい。保育所や幼稚園と引継ぎ確認しながら関わっていきたいと思う。

【民生委員・児童委員協議会】

コロナの影響で、学校に地域の者が行きにくい状況がある。

田井小学校区に踏切が3か所あり、京阪電車の高架工事に伴い、古いマンションの取り壊しで視界が悪くなり、子ども達の登下校を校長先生も心配されていたので、週に3日見守り活動をした。

学校で大きな声を出すことを禁じられているのか、下校時に、子どもたちは、はしゃぎながら帰ってくる。マンションの工事は終わったが、現在も週に1度、見守りで立つことで、保護者と交流ができ、子ども達の話も聞けて状況が分かる。

【こどもを守る課】

要保護児童対策協議会の話で、学校や保育所の先生方が洗濯やシャワー等の対応をしてくださっていることを聞いている。

命を守る砦としての活動について、公立ならではできるところだと思う。

週に一度、子どもの安全確認をさせてもらっている状況なので、早くコロナが落ち着けばと思う。

気軽に行くことができたこどもセンターも予約制になり、家庭の中で、お母さんたちも孤立して子育てしており、このイライラをどこに相談し

たら、どこにぶつけたらいいのか悩んでいる。

コロナの影響は大きいですが、ワクチン接種が普及し、感染状況が落ち着けば、お母さん方も元気になるのではと期待している。

家庭教育サポーターにも、お世話になっており、今後もよろしく願いしたい。

【こどもセンター】

不特定多数が利用するところなので、誰が感染してもおかしくないため、注意が必要である。

看護師は常駐しており、床も拭き取り清潔な状態で利用してもらっている。

また、電話相談も行っているが、父が在宅勤務で、母親が子どもを叱る様子を見て、相談されたことが数件あった。

コロナ禍におけるオンライン事業の取組みで、「オンライン誕生会」や「作って遊ぼう」等、オンラインを活用してカメラ越しに歌ったりして、保護者や子どもたちの交流を継続して行っていきたい。

【幼稚園】

現在は、大きな声を出せないため、2メートル間隔に衝立をして活動している。歌うときは、広いところで距離を開けて歌っている。

コロナの影響で、プールに入れていない子が、来年は、小学1年生に上がるので心配している。

緊急事態宣言や蔓延防止措置では、物を共用で使用しないように注意しており、手洗いを徹底している。

手を洗うことが多いので、子どもの手が荒れるため、親にハンドケアをお願いしている。コロナ禍においては、人との関わり方が課題だと思う。